

1977 (毎月1回発行)

7月号

(村の面積)
332.60 km²



(昭和52年6月1日現在)

| | |
|------|--------|
| 村の人口 | |
| 総人口 | 1,911人 |
| 男 | 980人 |
| 女 | 931人 |
| 出生 | 1人 |
| 死亡 | 0人 |
| 転入 | 13人 |
| 転出 | 10人 |
| 世帯数 | 556世帯 |

発行所 福井県大野郡和泉村



夏休み...
淡水で泳ぎを楽しむ

第11回 参議院議員通常選挙結果

投票率前回を上廻る八六・七二

第十一回参議院議員通常選挙は七月十日午前七時から村内五投票所において、六年間の国政に託す清き一票が一斉に投じられた。また、開票は午後八時から和泉

村中央公民館において行なわれ、地方区は午後九時過ぎ、全国区は午後十一時過ぎに各候補者の得票数が確定した。

本村においては、投票率八六・七二%と、前回を二・六一%上廻り、平均八二・〇三%（前回八〇・〇一%）を上廻り、選挙民の積極的な国政参加への姿勢が示された。

投票状況

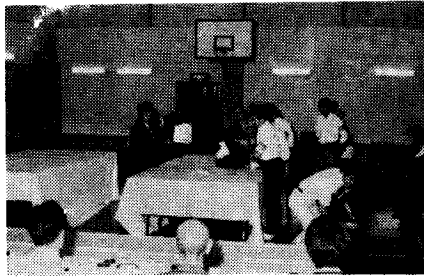
| 内訳 選挙別 | 当日の有権者数 | | | 投票数 | | | 棄権者 | | | 投票率 | | |
|--------------|---------|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 今回 (52年) | 680 | 675 | 1,355 | 595 | 580 | 1,175 | 85 | 95 | 180 | 87.50 | 85.93 | 86.72 |
| 前回 (49年) | 705 | 698 | 1,403 | 602 | 578 | 1,180 | 103 | 120 | 223 | 85.39 | 82.81 | 84.11 |
| 前々回 (46年) | 782 | 772 | 1,554 | 647 | 634 | 1,281 | 135 | 138 | 273 | 82.74 | 82.12 | 82.43 |

七二%と、前回を二・六一%上廻り、平均八二・〇三%（前回八〇・〇一%）を上廻り、選挙民の積極的な国政参加への姿勢が示された。

開票結果

| 今回 (52年) | | | 前回 (49年) | | | 前々回 (46年) | | |
|----------|-------|--------|----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| 候補者氏名 | 得票数 | % | 候補者氏名 | 得票数 | % | 候補者氏名 | 得票数 | % |
| 山内 一郎 | 579 | 50.04 | 浅田 豊 | 51 | 4.44 | 坂口 章 | 48 | 3.88 |
| つじ一彦 | 558 | 48.23 | 堀川 功 | 535 | 46.60 | 辻 一彦 | 720 | 58.11 |
| 浅田 豊 | 20 | 1.73 | 熊谷太郎 | 562 | 48.96 | 高橋 衛 | 471 | 38.01 |
| 計 | 1,157 | 100.00 | 計 | 1,148 | 100 | 計 | 1,239 | 100 |
| 投票者数 | 1,175 | | 投票者数 | 1,180 | | 投票者数 | 1,281 | |
| 有効投票 | 1,157 | | 有効投票 | 1,148 | | 有効投票 | 1,239 | |
| 無効投票 | 18 | | 無効投票 | 32 | | 無効投票 | 42 | |

薬ビンは必ず診療所へ返還しましょう



新しい 中央公民館長 決まる

昭和五十二年四月一日付で、和泉村中央公民館長・中竜分館長が新しく決まりました。

和泉村中央公民館長 山本 浩
中竜分館長 飯島広通

第五十二回臨時議会

議案二件を可決

第五十二回和泉村臨時議会は七日招集され、議案二件が原案どおり可決されました。

- ◎工事請負契約の締結について 林道久沢本線災害復旧工事
- ◎動産買入契約の締結について 除雪ドーザー（車輪式）アングリングプラウ付の買入契約を締結。

第一回移動保健所を開設 第二回成人病検診実施

六月一日～三日まで中竜地区において、成人病検診、胃、婦人ガンを検診を実施しましたが、今回は左記の日程で、朝日地区を中心に各検診を行ないます。

早期発見・早期治療が今日の健康を維持する上で、特に大切なことです。一人でも多く受診して下さい。

◎成人病検診（診療所）

八月二十三日午前六時～午後三時

時

◎胃集団検診（診療所）

八月二十三日午前六時～正午

八月二十四日 " "

八月二十四日 " "

◎子宮ガン検診（診療所）

八月二十四日（午前十時～三十分）

午後三時

昭和52年7月10日執行 参議院全国選出議員選挙候補者別得票数

| 届出番号 | 党派 | 候補者 | 得票数 | 届出番号 | 党派 | 候補者 | 得票数 | 届出番号 | 党派 | 候補者 | 得票数 |
|------|----|---------|---------|------|----|--------|---------|--|----|-----------|--------|
| 1 | 自 | 玉置和郎 | 0 | 41 | 無 | 川上源太郎 | 2 | 81 | 自ク | 佐藤たか夫 | 1,500 |
| 2 | 諸 | 武藤富男 | 1 | 42 | 公 | 宮崎正義 | 1 | 82 | 自 | 町村金五 | 5 |
| 3 | 公 | 小平芳平 | 1 | 43 | 革自 | ばばこういち | 1 | 83 | 社 | 大木正吾 | 30 |
| 4 | 自 | 梶木又三 | 1 | 44 | 自 | 内藤誉三郎 | 9 | 84 | 共 | 宮本顕治 | 3 |
| 5 | 無 | 吉武輝子 | 4 | 45 | 諸 | 中尾太人 | 4,036 | 85 | 共 | 加藤進 | 1 |
| 6 | 公 | しぶや邦彦 | 1 | 46 | 自 | 藤井ひろひさ | 3,375 | 86 | 無 | 有田二郎 | 1 |
| 7 | 日女 | 城戸かよこ | 0 | 47 | 自 | 竹内きよし | 13 | 87 | 日女 | 斉藤千恵子 | 0 |
| 8 | 自 | 扇千景 | 3 | 48 | 社 | 松前達郎 | 3 | 88 | 日女 | 篠塚幸子 | 0 |
| 9 | 社 | 望月優子 | 4,800 | 49 | 無 | 八代英太 | 9 | 89 | 日女 | 野崎あき子 | 0 |
| 10 | 無 | 奥崎謙三 | 0 | 50 | 革自 | 中村武志 | 2,121 | 90 | 無 | 高田がん | 1 |
| 小計 | | | 15,800 | 小計 | | | 47,532 | 小計 | | | 42,500 |
| 11 | 公 | 多田省吾 | 4 | 51 | 無 | 心久 | 1 | 91 | 社市 | 池山重朗 | 0 |
| 12 | 無 | 阿部修 | 0 | 52 | 無 | もりた勇造 | 1 | 92 | 無 | 木口行美 | 0 |
| 13 | 自 | 安西愛子 | 1 | 53 | 無 | 大西末子 | 1 | 93 | 革自 | あべたまこ | 0 |
| 14 | 革自 | 鈴木武樹 | 0 | 54 | 諸 | 萩原猛 | 0 | 94 | 日女 | 渡部みえこ | 0 |
| 15 | 自 | 徳永正利 | 16 | 55 | 無 | 高橋圭三 | 0 | 95 | 無 | 扇忠雄 | 0 |
| 16 | 公 | 中野明 | 3 | 56 | 社 | 山崎昇 | 1 | 96 | 日女 | いたるケイ子 | 2 |
| 17 | 社 | あき山あつし | 4 | 57 | 自 | 黒住忠行 | 1 | 97 | 日女 | 中島久美子 | 0 |
| 18 | 社 | 田英夫 | 7 | 58 | 自 | 西村尚治 | 82 | 98 | 無 | 間瀬蔵太 | 0 |
| 19 | 共 | 近藤忠孝 | 13 | 59 | 共 | 星野力 | 0 | 99 | 無 | 大さこ修一 | 1 |
| 20 | 公 | 中尾たつよし | 106,963 | 60 | 社 | 宮之原貞光 | 0 | 100 | 無 | のむらてるお | 0 |
| 小計 | | | 154,963 | 小計 | | | 87 | 小計 | | | 3,000 |
| 21 | 自 | 藤島たいすけ | 0 | 61 | 諸 | 高橋秀郎 | 0 | 101 | 無 | 鈴木あきら | 0 |
| 22 | 無 | 野末陳平 | 6 | 62 | 自 | 片山正英 | 122 | 102 | 無 | すずきひろし | 0 |
| 23 | 自ク | ささはら金次郎 | 1 | 63 | 革自 | 横山ノック | 1 | 103 | | | |
| 24 | 諸 | 成田得平 | 2 | 64 | 無 | 松浦範年 | 0 | 104 | | | |
| 25 | 公 | いずみ照雄 | 1 | 65 | 無 | 松田照久 | 0 | 105 | | | |
| 26 | 自ク | 大来佐武郎 | 6 | 66 | 共 | 春日正一 | 3 | 106 | | | |
| 27 | 自 | もちつき正作 | 1,200 | 67 | 共 | 市川正一 | 0 | 107 | | | |
| 28 | 社 | 松井つね子 | 44 | 68 | 無 | 鬼頭史郎 | 2 | 108 | | | |
| 29 | 自 | 一竜斎テイホー | 3 | 69 | 自 | 伊江朝雄 | 189 | 109 | | | |
| 30 | 民 | 藤井つねお | 5,625 | 70 | 民 | 柳沢れんぞう | 0 | 110 | | | |
| 小計 | | | 69,825 | 小計 | | | 317,000 | 小計 | | | 0,000 |
| 31 | 社 | 田中すみ子 | 35 | 71 | 公 | やおい秀彦 | 4 | (A)得票総数 | | 1,098,998 | |
| 32 | 自 | 堀江正夫 | 5 | 72 | 自 | 石本しげる | 6 | (B)按分の際切り捨てた票数 | | 0,002 | |
| 33 | 自 | 福島茂夫 | 9 | 73 | 社 | やすつね良一 | 187 | (C)いずれの候補者にも属しない票数 | | 0 | |
| 34 | 社市 | 江田五月 | 9 | 74 | 社 | 佐藤三吾 | 1,500 | (D)有効投票数 (A) + (B) + (C) | | 1,099 | |
| 35 | 民 | 中村利次 | 32,878 | 75 | 社 | 大森昭 | 5 | (E)無効投票数 | | 76 | |
| 36 | 民 | 栗林卓司 | 7 | 76 | 公 | 柏原ヤス | 0 | (E)投票総数 (D) + (E) | | 1,175 | |
| 37 | 自 | 楠正俊 | 11 | 77 | 自 | 増岡こうじ | 46 | (G)持帰り・その他 | | 0 | |
| 38 | 無 | 長沢純 | 0 | 78 | 無 | 小牟田棋山 | 0 | (H)投票者総数 (F) + (G) | | 1,175 | |
| 39 | 無 | 林隆造 | 0 | 79 | 自 | こが雷四郎 | 1 | ①・印の右側は、按分による端数を小数第3位まで(小数第4位以下を切り捨てる。)記入すること。 | | | |
| 40 | 自ク | 円山雅也 | 2 | 80 | 共 | 下田京子 | 0 | | | | |
| 小計 | | | 110,878 | 小計 | | | 250,500 | | | | |

県政バス教室実施される

一般県民をバスで県の施設などへ案内し、県政に対する認識と理解を深めるとともに、建設的な意見、要望等を聞き県政の諸施策を反映させることを目的とした県政バス教室が七月五日実施されました。この六十数名の方が参加され、きめられた日程にしたがって各、県が行なっている施設や事業を見学され午後六時ごろ帰省されました。

また、県政バス教室に参加された方々から、次のような感想文をいただきました。

県政バス教室の一日

朝日 尾花 芳雄

七月五日午前八時県政バス教室の一員となって、和泉村役場前を出発した。大型バスの補助椅子をわずかに残すのみの盛況で、主として婦人生徒で席がしめられている。戦後より次第に各種の行事に婦人が参加する機運が旺盛になってきたことは頼もしき限りである。中世の貴族や武家政権のもとでは庶民は領民といわれて物を作ったり、労役に従事させられる領主の私有財産とみなされて宰領や支配者によって、あくなき収奪と苦役をしいられて生きることさえ容易ではなかった。往時の庶民の生

活を懐古するとき悲憤の思いとともに、良き時代に生を受けた自身の幸を車中の感慨としながら鯖江青年の家に到着し、係員の案内で施設や設備を見学しながら次代を担う若者達の心身の育成になみなみならぬ夢と期待をかけて藤の力となつて尽力されている有様を見聞して、感銘を深めるとともに成果を祈りながら青年の家を後にし、宮崎村陶芸館へと向つた。村内のあちらこちらの納屋に積み上げられた陶工を散見しながら陶芸館に着き館員の案内で、古くは平安時代の壺や皿、茶碗等を参観し、ついで作業場、茶苑、庭苑などを見学しながら広い地域が念入りに整備されているのに感心した。又作業場は粘土の細工場であるからと最初に予想していたのとは違つて明るく清潔で管理者諸氏の心意気がうかがわれた。各地から愛好者が多勢で訪れて製作をはげまるとか。見学を終え昼食をとり一路臨海工業造成地へと向つた。途中さまざまな巨岩奇石が海中に海岸に、又は道路をささぎり迫るさまは、大自然の威力をまざまざと見せられる景観でためいきと感激の連続であった。日本列島創生期の海底噴火のものすごさを想像しながら造成地に到着、一同事務所講堂にて総務課次長さんより計画

の概要と完成後の県民にもたらす影響等の説明を聞き終つて、現場を一望のもとに見わたせる場所に案内されて詳しい説明を受けた。拡大な三里浜の一角が港を備えた一大工業地帯に変貌したあかつきには、福井県の産業経済人口配置等に及ぼす影響は、はかり知れないものがあると同時に、問題となつた四日市水島苦小牧等に見られる開発の表裏となつて現れる公害は？功罪とももの思が頭に浮ぶ。工事はもう半ば近くまで遇行して

いるとのことである。起り得る公害を最小限に止める努力と費用をこのまざらんことを念頭に画きながら、意義深く希望多いバス教室の日課を終えて帰路についた。こうした企てに青少年をも加えた一人でも多くの村民が参加して見聞を広められるように、たびたび機会を設けられるよう努力されることを功に希望します。

校の子どもたちと会いました。全ての利用者がそうだとはい限りませんが、「こんにちは」と声をかけてきたんです。こんな子どもたちにも利用されているんだわなんて爽やかな気持ちになりました。次の陶芸館では、種々の陶器観賞(館内の方の詳細で理解しやすい説明に、一層好感を持った。)のあとで、陶芸教室の紹介がありました。一般の人が、手を土で汚しながら自分の製作に熱中していました。手づくりの良さ、自分が何かするこの意義という点でも、「鯖江青年の家」とともにこういった施設の重要さが理解できました。こういった施設とは少し違つて、最後に見学したのが「福井臨海工業地帯」です。六十年に造成完了とかで、着々と工事が進められていました。工事に使用している車のタイヤで新車一台買えるといつたもので、莫大な資金投資です。事務所で作成計画の説明があつたのですが、実際に工事を見て、そのスケールに驚きました。

県政バス教室に参加して

佐藤 喜久江

今回の県政バス教室参加者の中では、最年少者だつたようです。わたしの参加の動機というのが、正直いってごく単純でした。県の施設がどうのというのではなく一度陶芸館を見学してみたいというきわめて個人的なものから発して見ました。まず最初の見学施設は鯖江青年の家。個人経費が軽くちようどそこを利用していた小学

前年から一度参加したいと思いがらなかなか参加出来なかつた県政バス教室に、今年念願かなつて参加することが出来ました。心配された天候も快晴とまではいきませんでしたが、研修生にとつては、かえつて暑過ぎなくて恵まれた天候でした。日頃家庭内にあつて国政はもとより、県政・村政の知識に之しい私達主婦にとつて県政への理解と認識を深めるための有意義な研修の一日でした。見学先では、係の方の説明や案内も親切で特に臨海工業地帯建設地では、会議室で説明の後、現地まで随行してユーモアも交えて皆を笑わせながら勉強させていただいた事が工事進行中のグリーンベルト地帯や広大なラッキョ畑とともにとても印象深く心に残りました。そして臨海工業地帯建設工事では、現在福井の工事が日本一規模が大きいという説明と進行中の工事を展望台上から、往き交うダンプロトラックや工業用地など眼下に見渡してびびりして聞き入っていました。

今年参加出来たこの県政バス教室は県政の一端でしかないと思いますが、今後も出来るだけ多く参加して見聞をひろめたいと感じました。

県政バス教室に参加して

福田 英子

説明に「堤防の下をみなさんが歩く時は、一万円札の上を歩いているんだなあと思ってください。」とあつた。それを聞き、笑つてはみたものの、笑えない部分も多少ありました。工事の黒い煙が、息ぐらしさを感じさせたせいもあつたのでしようが、この先、これが良い工業地帯となるにせよ、公害という問題も生じてくるのではないだろうかとも思つたりしました。

今年参加出来たこの県政バス教室は県政の一端でしかないと思いますが、今後も出来るだけ多く参加して見聞をひろめたいと感じました。

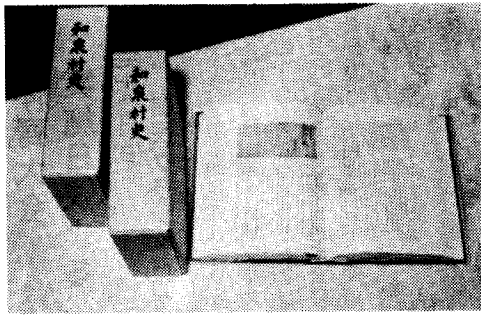
薬ビンは必ず診療所へ返還しましょう



村のできごと

和泉村史完成
村民・水没移住民
無料配布

昭和三十九年から製作がつづけられていた、和泉村史がこのほど十三年がかりで完成し、七月一日より村民及び水没移住民の方々に無料配布が行なわれました。
和泉村史は第一篇民俗、第二篇歴史、第三篇民俗、第四篇人文地理、七九〇ページからなる村史となっています。



県消防操法大会に

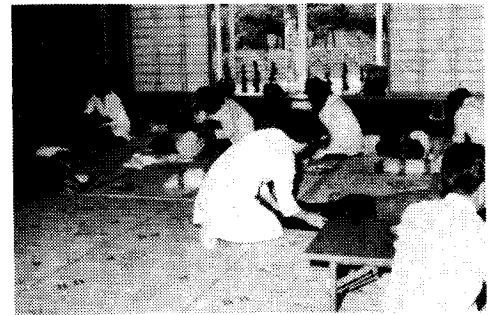
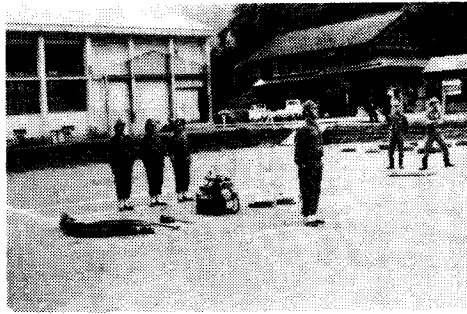
第四分団出場

第二十六回県消防操法大会が七月十九日福井県消防学校において実施されますが、小型動力ポンプの部で第四分団が大野地区の代表として出場することに決定しました。五月二十八日より大納小学校校庭において毎日午後四時三十分より練習に励んでおり、各分団の激励と指導員各位の熱心なる指導のもとに操法員全員奮闘しております。

たなばた祭り

行なわれる

去る七月七日たなばたが行なわれました。
この日各児童、園児たちは、ゆかたスタイルで、幼稚部の遊技場に用意された竹に、おかあさんやおとうさん達に手伝ってもらい、願いごとのたんぎくや、かざりつけをしました。
また、日頃練習した歌やお踊りを父兄に披露し楽しい一日を過ごしました。



理療実習(針・あんま)

行なわれる

老人・身体障害者に対する福祉事業の一環として、村内に居住する六十才以上の老人及び身体障害者を対象に七月十四・十五日の両日福井県立盲学校生徒により「針あんま」の理療実習が実施されました。
この理療実習は毎年行なわれているもので、本年も同様の計らいによって実施されたもので約百人ほどの老人及身体障害者の方が理療実習を受けた。

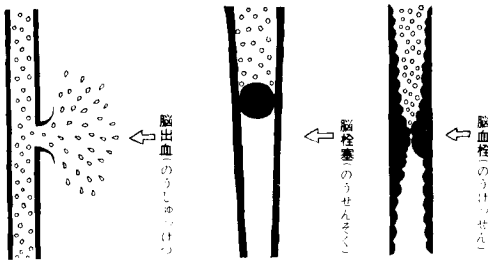
脳の健康

脳梗塞 血管がつまる

脳血栓(のうけつせん) 脳血栓というのは、動脈硬化・アテローム変性などによっておこってくるもので、一般的にいって、いわゆる「痴呆」をともなう脳軟化は、これによるものが多いのです。

老人に発生し、症状も数日前から徐々に知覚・運動・意識の異常があらわれます。これは血栓が徐々に起こるためであり、高血圧は必ずしもともないません。しかも運動回復等も悪く、しゃべれないなどの痴呆になります。

血管の状態がこんなに!



村民体育大会

実施日決まる

八月二十六日(日)

村民グラウンドにて

例年十月下旬に開催されている村民体育大会は、本年時期を早めて実施することになりました。

八月二十八日(雨)の場合八月四日(日)村民グラウンドで開催されます。

各地区より多数参加頂き、盛大な体育の一日としたいものです。

各種スポーツ

大会の結果

体育協会主催球技大会

- 村民野球大会
 - 優勝 九龍クラブ
 - 次勝 電源開発チーム
- 村民バレーボール大会
 - (男子の部)
 - 優勝 九頭竜Aチーム
 - 次勝 中竜チーム
 - (女子の部)
 - 優勝 中竜主婦会チーム
 - 次勝 中竜婦人会チーム
- 軟式野球県体予選会
 - 優勝 九龍クラブ
- 村民卓球大会
 - (男子団体戦)
 - 優勝 中竜Aチーム
 - 次勝 中竜Bチーム
 - (女子団体戦)
 - 優勝 中竜Aチーム
 - 次勝 中竜Bチーム

- 優勝 中竜Aチーム
- 次勝 中竜Bチーム
- (混合ダブルス)
 - 優勝 中山角夫・岩城栄子組
 - 次勝 宮崎義幸・谷口信子組
- (一般男子個人戦)
 - 優勝 宮崎義幸
 - 次勝 中山角夫
- (壮年男子個人戦)
 - 優勝 東 宏高
 - 次勝 洞口賢明
- (一般女子個人戦)
 - 優勝 岩城栄子
 - 次勝 前田笑子

※六月十二日、グラウンドコンディション不良のため延期したソフトボール大会は諸般の事情により止むなく七月十七日実施と決定いたしました。なお当日も実施不可能な場合は七月二十四日の予定です。関係の方々にも多大のご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申す申し上げます。

県少年剣道福井大会

- (団体戦)
 - Aゾーン優勝 中竜剣道教室Bチーム
 - Bゾーン優勝 中竜剣道教室Aチーム
 - Cゾーン三位 大納小学校チーム
- (個人戦)
 - 五年生の部
 - 優勝 工藤 剛
 - 次勝 岩城栄一
 - 三位 荒関 健

- 三位 西野耕二
- 四位 向井 康
- 六年生の部
 - 三位 工藤一志
 - 松田勝人

税コーナー

税金はみんなの

ために使われる

私たちが健康で快適な生活ができるように、国や地方公共団体はいろいろな活動を行っています。

例えば、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育や科学の振興など、その活動は幅広い分野にわたっています。これらの活動に必要な費用は、その社会を構成している私たちがみんなが分担して出している私たちが分担して出している合っていかねばなりません。これが税金というわけです。

国の活動を表わす昭和五十二年度の一般会計予算は、二十八兆五千四百三十三億円ですが、このうちの六四・〇％が税金でまかなわれています。

そこで私たちが納めた税金千円当りの使いみちを、昭和五十二年度の一般会計予算でみると次のようになります。

私たちの健康や生活を守るために……………二百四十一円
住宅や道路などの整備のために……………百五十円

- 教育や科学技術の振興のために 百二十円
- 地方財政の援助のために 百七十三円
- 国土の防衛のために 五十九円
- 国債の償還や利子支払のために 八十二円
- 米価の安定のために 二十九円
- その他のいろいろな施策のために 百四十六円
- 合計 千円

お互いに人権を尊重して 明るい近隣関係を 築こう!

人に知られたくない他人の秘密を公にしたり、悪口、暴言によって侮辱したりすることは、他人のプライバシーを侵害し、あるいは名誉を毀損することになります。お互いに他人の立場も考えましよう。

福井地方事務局大野支局
大野人権擁護委員協議会



洞口 寛ちゃん

お知らせ 歯科診療日

- 八月 一日 午前九時～正午
 - 八月 三日 " " " "
 - 八月 五日 " " " "
 - 八月 十日 " " " "
 - 八月十二日 " " " "
- ◎ 診療を受けられる方は、必ず保険証を提示して下さい。

人のうごき

赤ちゃん誕生

貝皿 洞口 寛 一夫・長男

結婚

- 上大納 谷口 利和
- 大野市 広瀬 ひろ子
- 大野市 吉川 政美
- 朝日 吉川 朱美
- 朝日 水谷 光一
- 大野市 中村 優子